



平成25年10月23 日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

結果のお知らせ

武豊町で行われた南海トラフ等巨大地震を想定した防災訓練に

国土交通省の海洋環境整備船「白龍」が参加しました！

～愛知県石油コンビナート等防災訓練において流出油の回収訓練を実施～

1. 概要

10月18日(金)に愛知県知多郡武豊町において実施された南海トラフを震源とする地震を想定した愛知県石油コンビナート等防災訓練に、中部地方整備局は名古屋港湾事務所所属海洋環境整備船(清掃兼油回収船)「白龍」を派遣しました。訓練は愛知県、武豊町、第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部など関係31機関の約400人が参加し、白龍は油流出事故対応を図ることを目的とした海上訓練において、流出油の回収訓練(排出油防除訓練)を行いました。

なお、同船は引き続き、航行船舶の安全性の確保や海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾(港湾区域、漁港区域を除いた海域、約1,800km²)での浮遊ゴミ回収作業を行うとともに、関係機関と連携し大規模災害に備えます

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門誌記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港・防災危機管理課 金子(かねこ)

Tel 052-651-6460 Fax 052-651-6374

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境課 塚本(つかもと)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



「訓練状況」



(訓練海域で排出油防除訓練中の白龍)



(訓練海域で排出油防除訓練中の白龍)



(放水銃による排出油拡散作業)



(放水銃：最大飛距離約 30m)



(訓練海域を航行中の白龍)



(訓練作業中の操舵室)

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業。
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業。
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。

担務海域



「白龍」の諸元

- 所属
中部地方整備局
名古屋港湾事務所
- 基地港
名古屋港 四号地岸壁
- 全長、全幅、総トン数
33.5m、11.6m、198t
- 最大速力
15.1kt (約28km/h)
- 担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)
(港湾区域及び漁港区域
等の指定区域を除く)



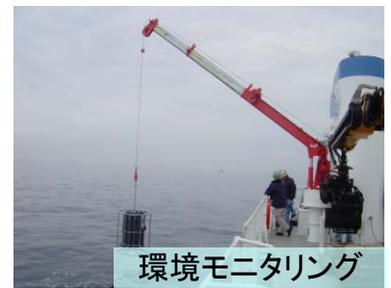
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング

東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

- 漂流物回収量【239.1m³】



回収ゴミの陸揚げ